

# 矢筈山 & 風師山

(やはずやま&かざしやま)

福岡県北九州市門司区

2024年 8月27日

矢筈山展望台からの眺望は必見！



海岸線に沿って広がる北九州市の街並み。正面遠くに皿倉山。

本日のコース <全行程 4時間40分>

小森江子どもの森公園駐車場 9:29 → 矢筈山展望台 10:21 → 矢筈山 10:41 →  
風師山 12:00 → 小森江方面への分岐 12:10 → 風頭 12:14 <昼食> 13:19 →  
小森江方面への分岐 13:23 → 小森江子どもの森公園駐車場 14:09

6年ぶりの矢筈山と風師山。今回は酷暑の中での汗だく登山となった。熱中症に気を付けて、こまめな休憩と水分補給。ツクツクボウシが鳴く残暑の森を楽しんで歩きました。



小森江子どもの森公園駐車場 9:29  
駐車場はガラガラで先着車はたったの1台だった。



企救自然歩道 風師山コースマップ 9:33 矢筈山まで 2.7km



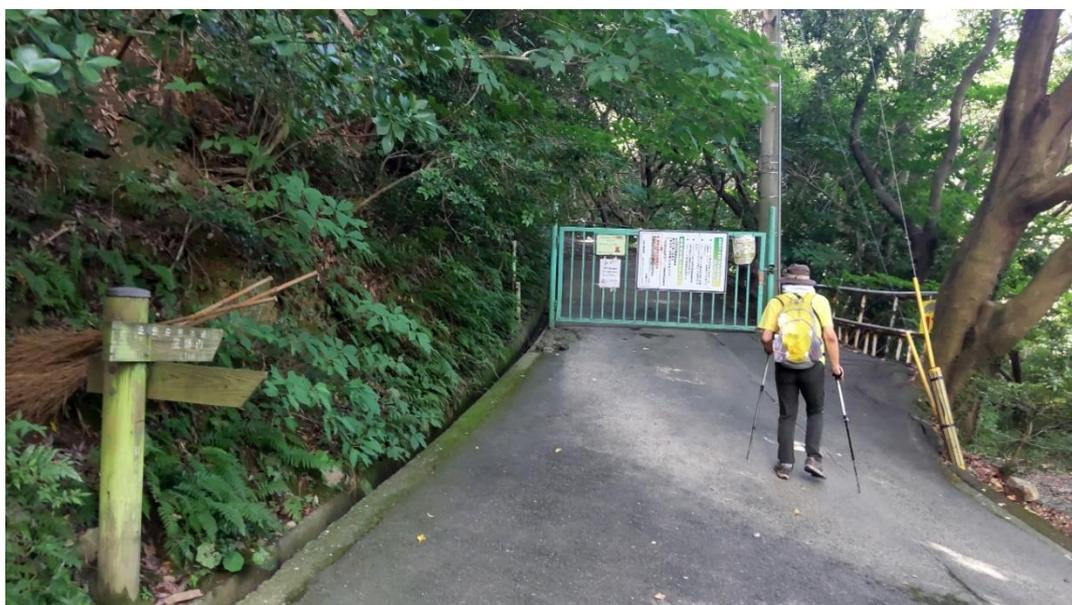
北九州水道産業遺産の小森江貯水池（煉瓦積みの取水塔がレトロ）  
駐車場から子どもの森公園を迂回してスタート！



細い車道を歩いて行く途中で、タヌキさんに遭遇(笑)



キャンプ場マップの看板からから右へ 9:45 舗装道路を進む  
30分でキャンプ場入口に到着するらしい。



この鉄柵以降は、車両進入禁止・犬の散歩も禁止  
矢筈山山頂部(キャンプ場)まで、この林道一本



風師山への分岐 9:54 先ずは矢筈山へ  
分岐を通過して林道を進む



矢筈山への分岐はこの先にもう一つある筈だが・・・。



分岐付近で見上げると樹間に見えるのは風師山



雰囲気の良い林道を進む



矢筈山山頂部に到着 10:16



キャンプ場ではお二人の先着者が休憩しているだけだった。たぶん常連さんだろう。



トンネル内で昔の写真に見入る



矢筈山キャンプ場 案内板



弾薬庫跡

矢筈山は北九州市門司区の戸ノ上山と風師山にはさまれた位置にある標高266mの山です。『北九州の戦争遺跡』によると、ここは1887年(明治20)2月に関門地区防衛を目的に構築された下関要塞地帯の一つでした。

要塞には9センチ臼砲四門と15センチ榴弾砲六門が据えられていました。明治末期に廃止されましたが、戦後すぐに国有地になり1953年(昭和28)の大水害を機に保安林に指定されました。1968年からキャンプ場建設の整備がすすめられ、1970年「矢筈山林間学園」になりました。当時の兵舎や地下壕、弾薬庫、営庭などがそのまま残っています。

『北九州を歩く』によれば、地元出身の県議・故寺岡光雄氏が、荒れ果てた砲台山を「矢筈山林間学園」に整備するのに尽力したようです。

現在は山頂にテントサイト、キャンプファイヤー場や赤れんがの壕跡を利用した施設があり、針葉樹林に囲まれ動植物が多く生息しています。関門海峡、響灘、周防灘も一望でき、多くの登山者が訪れています。(ネット調べ)



矢筈山展望台のベンチで休憩 10:21 立派な藤棚



展望台からの眺望 10:22 青い空・海、街並み・・・素晴らしい眺め



海岸線に沿って北九州市の街並みが広がっている  
休憩後は山頂部をウロウロと…

ウロウロする途中で、また別の見晴らしの良い場所を見つけた！



右手の海上に北九州空港が見えている 10:34

ここでまだ矢筈山山頂に到達していないことに気がつき  
テッペン広場に向かう



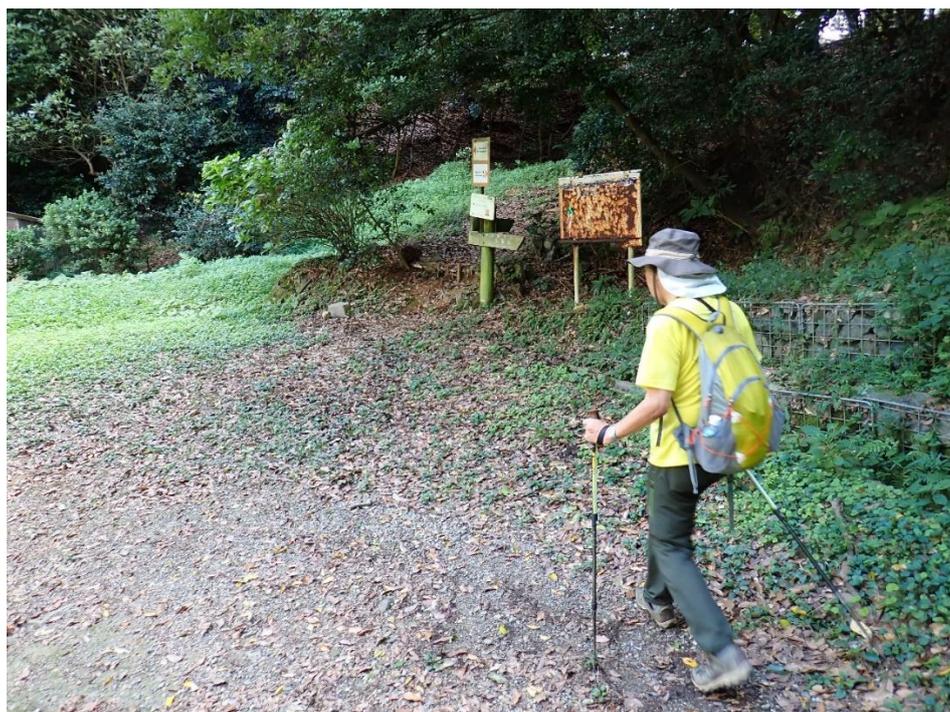
テッペン広場 10:41 キャンプファイヤーなどが行われる場所  
綺麗に整備されていて気持ちいい



矢筈山山頂 10:41 266m  
広場出入り口の門柱が山頂碑になっている



ヤブランがひっそり咲いている



山頂から往路を下り、風師山への分岐まで戻ってきた 11:06  
実は、山頂から下る途中のカーブに風師山への分岐がもう一つあったはずだが、  
道標がなかったので念のためにこの場所まで下って来た。



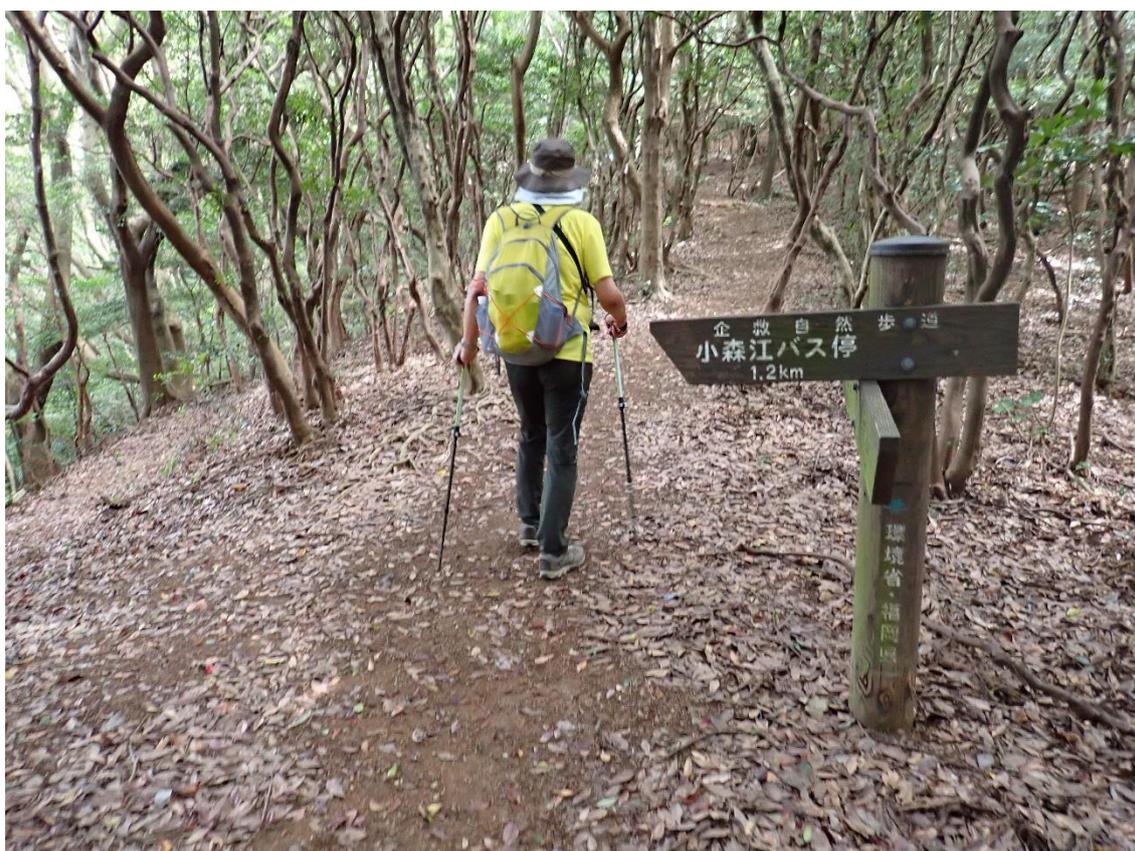
この分岐から風師山へ 11:07 すぐ先に風師山への尾根が見えている



尾根に乗ると分岐に出会う 11:08 風師山まで1.1km



陸軍省の石柱 11:09 歴史を感じる瞬間



小森江バス停への分岐を通過 11:12



木陰で一休み 11:40

とても暑い。長い上り坂の途中で無理せずに途中休憩。



今日は先日購入した軽量ミッドカットシューズの試し履き  
軽いので足さばきがとても楽になった  
防水でクッション性もあり、今のところ履き心地は良好。



奥田峠への分岐を通過 11:45 風師山まであと400m



風師山 12:00 362m 樹木が茂って眺望は望めない



電波反射板が際立つ  
風師山で休憩後、風頭(かざがしら)を目指す！



小森江方面への分岐 12:10 通過  
風頭に登頂後、またここまで戻ってスタート地点の駐車場へ下山する



風頭への分岐 12:13 あと100m で風頭



風頭 12:14 石碑が目立つ



登山家 榎 有恒(まきゆうこう)が風頭へ登頂した際の感激を記した記念碑  
榎 有恒はくじゅうの牧ノ戸温泉の命名者でもある

#### 榎 有恒(まきゆうこう)略歴 (説明標識より)

1894年2月5日生まれ。仙台市出身。慶應義塾大学卒。

近代アルピニズムの開拓者・紹介者。

1921年、スイスアルプスのアイガー東山稜の初登攀。

1925年、カナディアンロッキーの未踏峰マウント・アルバータの初登頂。

1956年、日本山岳会の悲願であったヒマヤラの未踏峰マナスル(8163m)の遠征隊長として初登頂に成功した。

初登頂を報告するため翌年から日本全国を巡回し、九州にも足跡を残された。

北九州では1957年10月、榎の来訪を機に、風師山早朝登山会の堤甚五郎会長が関門海峡の絶景を俯瞰できる風師山に案内した。

この記念碑はその折の感慨を榎が記したものである。榎有恒は戦前・戦後を通じて日本山岳会の会長を2度歴任し、その後、名誉会員に推挙された。1989年5月2日没。享年95歳。

日本山岳会北九州支部  
風師山早朝登山会  
門司こもれば会



関門海峡と関門橋(右奥)  
対岸は山口県下関市。たくさんの貨物船が往来している。



眼下に巖流島（宮本武蔵と佐々木小次郎 戦いの場所）



先ほど登頂した**矢筈山**も眼下に見える

矢筈山の背後には**戸ノ上山**

この山並みを見て、15年前(2009年7月)に「**企救自然歩道**」(**門司港駅～風頭～風師山～矢筈山～戸ノ上山～足立山～妙見山～小文字山～メモリアルクロス**まで)を縦走したことを思い出した。約20キロの縦走、高齢者に突入した今ではもう全く自信がない。



このベンチに腰を下ろし、眺望を楽しみながら昼食休憩。



昼食後に記念撮影



関門海峡のパノラマ

風頭からこの絶景を見ながら一時間ほどゆっくりしたが、  
この間、風頭に登頂する人は誰もいなかった。



下山開始 13:19



小森江方面への分岐 13:23 駐車場へ下る



先ほどの分岐からの登山道は荒れていた。ルートがはっきりしない部分もあって注意して下った。登山道にいくつも大きなクモの巣があり、ひょっとしてこの登山道はあまり登山者が利用していないのかもしれない。そのような状況でこの石柱を見るとなんとなく安心する。



風頭から黙々と下ること47分、やっと小森江貯水池へ到着。14:06 ホツとした  
と言うのも、下山途中でイノシシを目撃！唸り声なども聞こえてちょっと不安だった。



山栗が足下にゴロゴロと転がっている(イノシシの好物だー)



貯水池の風景を見ながらトボトボと・・・相変わらずジリジリ暑い！



小森江子どもの森公園駐車場 14:09 ゴール

4時間40分の山歩きが無事に終了  
スマホの歩数計は14107歩。T師匠今日もお世話になりました。  
お疲れさまでした。